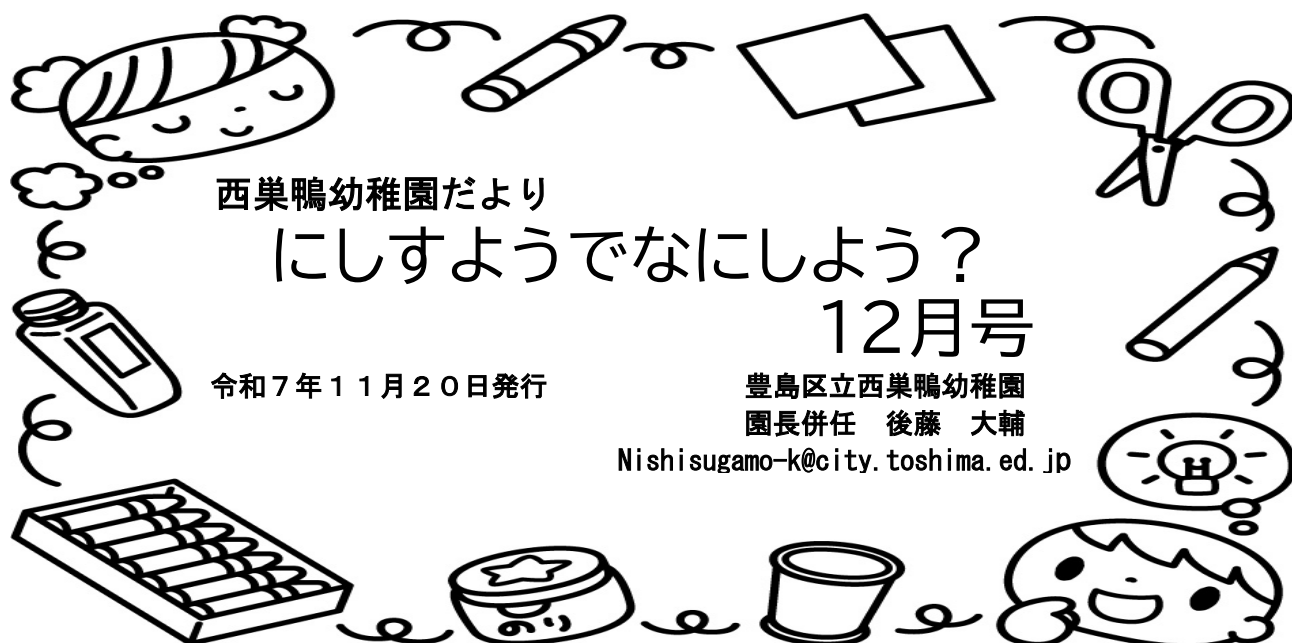




西巣鴨幼稚園だより

にしすようでなにしよう？

12月号

令和7年11月20日発行

豊島区立西巣鴨幼稚園

園長併任 後藤 大輔

Nishisugamo-k@city.toshima.ed.jp

『 2学期の活動を振り返って 』

幼児教育推進係長 野村 友彦

朝・昼・夕の気温差が大きい毎日が続き、冬の足音が大きくなってきた季節を迎えています。今年度の運動会は、残念ながら土・日は天候に恵まれず火曜日の開催となりましたが、当日は来賓・地域の皆様・保護者の皆様に多数参加していただき、ほのぼのとした温かい雰囲気の中で実施できました。最後の盆踊りにも皆様に参加していただき、本園ならではの運動会になりました。心より皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

2学期の保育指導も約1か月となりました。今学期は、遠足に3回行ったり、ゲストティーチャーを複数回招いたり、保育園・小学校との交流も複数回実施したりとバリエーション豊かな活動を多く取り入れてきました。様々な人と出会い、様々な触れ合いを通して大きく成長してきたと実感しています。自分たちもアイデアを生かして様々な物づくりにも挑戦してきました。神輿と山車を作るときには、西巣鴨新田町会の皆様に本物を見せてもらったり、触れさせてもらったり協力していただきました。出来上がった神輿と山車を町会の方にお披露目をした時には、すごく皆さんが喜んで褒めてくれたのが子供たちの大きな自信になりました。また、芸術家と子どもたちのアーティストさんに「どんぐりくんの家」を教えてもらって一人一人が素敵な家を作ることによって、自分の感性を磨くことができました。運動したり、物づくりに取り組んだりたくさん貴重な体験を積むことができました。これらの活動ができたのは保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力のおかげです。本当にありがとうございました。令和7年も大変お世話になりました。少し早いですが良いお年をお迎えください。

3学期は、幼稚園生活の最後の学期になります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

12月はこのような指導をします

ほし組

- グループの友達とイメージや考えを伝え合い、考えたり工夫したり分担したりしながら、遊ぶことを楽しめるように指導します。
- 季節の変化や年末年始の行事に関心をもち、自分たちの生活に取り入れられるようにしていきます。
- 大根の収穫を通して、土の中の様子に興味をもち、野菜の生長を喜べるようにしていきます。